

-脳も身体も元気よく-

年齢を重ねるとともに「最近、もの忘れが多くなった」「歩いていて、よくつまずく」など、脳や身体の衰えを感じている方も多いのではないでしょうか。日常生活を少し見直すと、その度合いがずいぶん変わってくるものです。脳神経外科・内科「たかせクリニック」院長・高瀬卓志さんに、いつまでも若々しく元気に過ごすためのコツを伺いました。

人と関わり合うようにしましょう

最近、ちょっとしたことがおっくうになったりしていませんか？ テレビのお守りをしたり、何もしないで、日々、ボーっと過ごしていると、老化の進行が早くなっています。高瀬さんは「例えば、勉強を考え方、普段のものに気が違つたり、ふだんの仲間ないことででも良く考え、工夫して行動することが、脳の働きに大いにプラスとなります」と言います。

また、「読書やクロスワードパズル、手芸やガーデニング、パソコンなどを楽しむのもいいですね」。ただし、パソコンは夢中になって、休憩も取らず長時間…ということのないようご注意を。就寝前にも触らないようにしましょう。

「とにかく、人と接することが大切です。たとえば、羽模や囲碁などの社会ダンス、合唱、絵画、模型づくり、ボランティアなど、趣味や社会的な活動をされてはいかがでしょうか。仲間と一緒に何かをつくり上げていく、成しとげていくことで、創造性、感性を養い、達成感を得られます。『何か目的を持つ、興味を持つことは、人が人らしくあるための基本ですね』。いくつになっただけでも、好奇心を持っていたものですね。



脳神経外科・内科「たかせクリニック」
院長 高瀬 康志さん

京都市出身。昭和63年大阪医大大学卒業、医学博士。大阪医大助手、北野病院脳神経外科副部長、多根結合病院脳神経外科医長などを歴任し、平成20年11月、大阪市港区に『たかせクリニック』開院。大阪医大非常勤講師。

<http://www.takase-cine.jp>



バランスの良い食事を

食事は、やはり元気の源です。栄養素をバランスよく摂りましょう。「和食はバランスがいいのですが、漬物、醤油、味噌汁など塩分が多くなりがちなので、塩分の取り過ぎと、カルシウム不足に気をつけましょう。また、ビタミンC・Eなどの摂取も大切です。

白米、玄米などの穀類は、体内でゆっくり吸収され、噛みごたえがあるので、満腹感を得やすいものです。適度な量のご飯でカロリーを取り、牛、豚などの動物性脂肪より、サバ、アジなど魚を多くし、色とりどりの野菜を取るようにしてましょう。

「アメリカでは、摂取カロリーの高い人は低い人比べて、アルツハイマー病による確率が1.5倍あるという研究報告がされています。天井、カロリなど高カロリーを摂取するには、脳に体に良くありません」。また「食べ過ぎないように、腹八分目、七目分に。食べ過ぎは老年代を悪めで」ています。



「地中海式ダイエット」

生活習慣病を予防する食事として注目されてい
る「地中海式ダイエット」が、最近、アルツハイマー
病にも予防効果があるとの研究報告がされています。

「地中海式ダイエット」には、いくつかのバージョンがあるのですが、その特徴は…

野菜・果物・穀物・豆類を、毎日種類も量も豊富に食べる

オリーブオイルをふんだんに使う。

低脂肪乳製品を、毎日少量取る。

角を中心とする。

そして、毎日体を動かすこと、お酒を飲むなら赤ワインを1~2杯、もちろん飲み過ぎは禁物です。



少し汗ばむ程度に身体を動かしましょう

適度な運動は、身体にも心にもいい「刺激」となります。「週に3回、1回30分ほどのペースで運動することが勧められています。エレベーターより階段を使う、バス停1分歩くなど、小さなことから始めてみてはいかがでしょうか」。散歩やサイクリング、さらに、水泳、ウォーキングなどの有酸素運動がおすすめです。誰かと一緒に運動すれば、より効果的です。



生活 習 慣 病の予防・早期発見・治療を

「高血圧、高コレステロール血症、糖尿病などの生活習慣病を持っている」と、統計的に老化が早く進むとされています」と高瀬さんは意見を促します。生活習慣病にかかっている人は、しっかりした治療を受けることが大切です。40代、50代のうちから日常生活を見直し、手先を打って老化の進行を少しでも遅らせ、元気に年を重ねていきたいんですね。

